

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	北京オリンピック代表選手の食生活調査
倫理審査委員会承認番号	2021-019
研究開始日	2021年5月13日
研究終了日	2023年9月30日
研究目的	本研究では、第24回オリンピック冬季競技大会（北京オリンピック）の代表および候補選手を対象に包括的に食生活（食習慣、食意識、サプリメント使用状況）について調査することとしています。
研究対象者	北京オリンピック代表選手および候補選手約200名（男性約100名、女性約100名）
研究概要	北京オリンピック派遣前メディカルチェックの問診票の一部（内科、栄養）のデータを用いて調査、分析を行います。問診票への回答はアスリートによる自記式もしくはメディカルチェック問診票専用アプリでの入力とします。なお、食習慣、食意識、サプリメント使用に関する問診については管理栄養士（JISS研究員、共同研究者、外部協力者）が内容及び記入/入力漏れ等を確認し、後日フィードバックを行います。そして、本研究では、取得したデータを男女別、年齢区分別、競技種目別等のサブカテゴリーで比較し、各サブカテゴリーの特徴を見出します。さらに、JISSが実施している栄養サポート（栄養評価、食事指導など）を受けた経験の有無や飲酒習慣、睡眠状況、競技成績の自己評価と食生活との関連を明らかにします。
研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報：氏名、性別、競技種目、年齢、身長、体重 ・内科の問診項目：食物アレルギー、食欲、食事の栄養バランス、便秘、睡眠 ・通常練習期の食習慣：主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物摂取量など ・スポーツ特有の食知識（補食について）、食習慣（水分補給、サプリメント使用）及び栄養サポート歴 ・サプリメントを使用していない理由 ・サプリメント使用の際のドーピングの意識 □年以内に使用した全てのサプリメントの成分名、使用理由、使用場面、入手方法、アンチ・ドーピング認証取得の確認の有無、体調不良の経験の有無 ・サプリメント使用前の医師及び栄養士による栄養評価の有無 ・サプリメント使用時の選手自身の意識について：食事改善の検討、成分の効果の確認、薬との相互作用の確認、世界アンチ・ドーピング機構禁止物質の混入の確認 ・サプリメント使用の情報源
研究の資金源 研究に係る利益相反及び個人の収益	<p>○本研究の資金源は、JISS内予算です。</p> <p>○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。</p>
研究責任者	安田純・スポーツメディカルセンター
研究分担者	<p>元永恵子・スポーツ研究部</p> <p>近藤衣美・日本学術振興会</p> <p>高井恵理、亀井明子、中嶋耕平、蒲原一之、上東悦子（以上、スポーツメディカルセンター）</p> <p>石橋彩・日本学術振興会</p> <p>吉野昌恵・山梨学院大学</p> <p>吉崎貴大・東洋大学</p>
問合せ先	<p>安田純・スポーツメディカルセンター</p> <p>電話：03-5963-0215</p> <p>E-mail：jun.yasuda@jpnssport.go.jp</p>